

銀座発祥の地

銀座2-7先



江戸幕府の銀貨鑄造所であった「銀座」の歴史を記念する石碑です。慶長17年(1612)に駿府(現在の静岡市葵区両替町)に置かれていた銀座を閉鎖し、江戸の新高替町二丁目(現在の銀座二丁目)に新設しました。江戸における通用銀貨類の鑄造・検査が行われた発祥の地になります。



銅造彫刻「燈臺」(中央区民文化財)

銀座4-1 数寄屋橋公園内

この記念碑は、昭和8年(1933)9月1日に関東大震災10周年記念塔として建立されたものです。石造の台座には「不意の地震に不断の用意」と記された銘板があり、震災の歴史と教訓を今に伝えています。台座上の銅造彫刻は、長崎市の「平和祈念像」の作者としても知られる北村西望が制作しました。力強く逞しい造形の彫刻は、北村が昭和6年(1931)に美術展へ出品したもので、記念塔の建立にあたって台座上に設置されました。

文化財 記念碑

銀座出世地蔵尊(中央区民文化財)

銀座4-6-16 銀座三越9階テラス



明治初年から銀座の地で祭られてきた石造の地蔵菩薩立像です。出世地蔵の名称には諸説ありますが、三十間堀付近の地中から「掘り出されて世に出た。ことに由来すると伝えられています。六角堂内に安置されている尊像は、世の中の平穏と出世を願う人々から篤く信仰されています。

北村透谷・島崎藤村記念碑

銀座5-1-13 泰明小学校



明治11年(1878)に開校した泰明小学校は、近代文豪の北村透谷(詩人・評論家)や島崎藤村(詩人・小説家)が学んだ学校です。北村(明治15年卒)・島崎(明治17年卒)ともに現在の銀座四丁目から通学していました。同校の敷地には、偉大な文豪たちが学んだ記念の碑があります。

石川啄木歌碑

銀座6-6-7先



石川啄木(詩人・歌人)は、明治42年(1909)に入社した京橋区滝山町(現在の銀座六丁目)の朝日新聞社で校正の仕事をしながら創作を続けました。同社跡地に立つブロンズ製の碑には、啄木の歌「京橋の瀧山町の新聞社灯ともる頃のいそがしさかな」と啄木鳥が施されています。

歴史モノがたり

鉄道馬車往復京橋煉瓦造ヨリ竹河岸図 明治15年(1882) 歌川広重(3代)／画

Episode 4



文明開化を迎えた明治期の銀座一丁目のまち並みと往来する鉄道馬車の様子を描いた錦絵です。京橋川北岸にあたる画面左には、近郊から運ばれてくる竹材の集積地・竹河岸が江戸時代以来の風情を伝えています。銀座一丁目に立ち並ぶ煉瓦造りの洋風建物には、砂糖・寿司・牛肉割烹料理といった多様な店舗が軒を連ね、楽しげな人びとの表情からも明治東京を代表する繁華街の様子が伝わってきます。

収蔵品アーカイブズ <http://www.chuo-museum.jp>